

令和 2 年 5 月 18 日現在

機関番号：32643

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2018～2019

課題番号：18H05733・19K20930

研究課題名（和文）「成人期への移行」を支援する専門能力の養成に関する社会学的研究：日英比較を通じて

研究課題名（英文）Supporting Transition to Adulthood: How workers supporting youth cultivate their professional skills

研究代表者

井上 慧真 (Inoue, Ema)

帝京大学・文学部・助教

研究者番号：10823156

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 700,000円

研究成果の概要（和文）：かつては高等教育機関が養成の中心を担ったが、雇用形態の変化、人員削減などの影響から、その役割は後退傾向にある。このような点についてより詳細に明らかにするため、研究予算を用いて子ども・若者支援職向けの専門誌・資料を収集した。また、イギリス北東部において青少年教育の養成にかかわってきた高等教育機関に訪問調査を行い、複数の研究者にインタビューを行った。同時に現地の大学図書館等に所蔵されている資料収集を行った。また、日本における若者支援機関への継続的な調査を行った、これら調査のなかには進行中のもも含まれるが、調査から得られた結果に関しては学会、および専門誌等での公開に向けて継続して調査・研究を行う。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来日本において若者支援の専門能力養成に関する研究は、生田(2014)など社会教育学の分野を中心に行われ、基礎能力の体系化が目指されてきた。しかし若者支援に必要な専門能力は学術領域上多岐にわたり、また個々の若者の抱えている問題により職員が必要とする能力は異なるため、困難も指摘されている。本研究は職場および専門職養成課程における職員の専門能力の養成を、職員個人の能力の形成と、問題解決のために活用可能な社会的ネットワークの形成という観点から調査研究を行った。

研究成果の概要（英文）：The research topic has been explored through doing qualitative research for youth workers and university lecturers who are majoring in related section, and through reviewing documents in relevant area.

研究分野：Sociology of Education

キーワード：若者支援 専門職 イギリス 青少年 教育

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

若者支援職の専門能力養成メカニズムを人的資本および社会関係資本の形成という 2 つの観点から明らかにすることである。そのために、日本およびイギリスの若者支援職の専門能力養成の場を研究対象として、調査を行う。

若者の成人期への移行における社会関係資本の役割と、何らかの「移行の危機」にある若者ほど社会関係資本が乏しく限定的であり、公的機関の支援が必要であるという関連研究からの知見に加えて、新たに支援機関の職員自身の専門能力の養成メカニズムを、検討することにより、若者の成人期への移行支援において支援機関が果たしうる役割をより精緻に解明することである。

関連研究である宮本 (2015)、荻野 (2008)、樋口 (2013) らは公的および民間の支援機関を利用する若者が家庭的・経済的・社会的に多様かつ複合的な問題を持つことを明らかにした。本研究の独創性は、それら複合的な問題について取り組んできた職員の専門能力養成のメカニズムに注目し、実地調査によりその実態を解明する点である。

2. 研究の目的

「成人期への移行」支援に関するこれまでの研究にもとづき、申請者は平成 30 年度より科学研究費補助金 (研究活動スタート支援) の助成を受けて、若者支援に携わる職員がどのように専門能力を養成し、また関係する教育・福祉等の専門職との社会的ネットワークを形成するかについて調査研究を行った。

3. 研究の方法

日本に関して、他機関との連携について大きな成果を上げている支援機関を対象に、継続的な面接調査を行ってきた。また、イギリスに関して、青少年教育における専門職養成を担ってきた高等教育機関に調査訪問を行った。調査訪問では、関係者への面接、資料収集を行った。またイギリスの子ども・若者支援に携わる専門職向けの雑誌等の資料収集を行った。

4. 研究成果

このような点についてより詳細に明らかにするため、研究予算を用いて子ども・若者支援職向けの専門誌・資料を収集した。また、若者問題について多様なトピックを扱う研究集会である Journal Youth Studies Conference において、研究報告を行った。研究報告においては、日本における家族のあり方やそれが若者のメンタルヘルスに与える影響、そして日本における若者支援の公的セクターと民間セクターとの関係など、多くの質問が寄せられた。同時にイギリスをはじめ海外の研究機関において関連研究を行っている研究者との意見交換の機会を得た。なかには青少年教育に従事しながら研究機関において調査を行っている研究者も含まれ、研究に必要な情報収集に進展がみられた。また日本について、専門職間の連携を可能にする要因について検討するため、教育機関等関連する機関との連携を活発に行っている事業所に対し、訪問による調査を行った。

かつては高等教育機関が養成の中心を担ったが、雇用形態の変化、人員削減などの影響から、その役割は後退傾向にある。このような点についてより詳細に明らかにするため、研究予算を用いて子ども・若者支援職向けの専門誌・資料を収集した。また、イギリス北東部において青少年教育の養成にかかわってきた高等教育機関に訪問調査を行い、複数の研究者にインタビューを行った。イギリス北東部の総合大学の社会学部教員2名を対象都市、イギリスにおける青少年を対象とした学校外の教育（ユースワーク）の現況について聞き取り調査を行った。また、特に女子の青少年教育を担う団体について博士課程で研究を行っている研究者に、活動を支えるコミュニティ単位の組織などについて聞き取り調査を行いました。北東部の学校教育・保育を中心とする小規模大学において青少年教育を専門とする教員に、経歴、そして大学における青少年指導者の育成に関する聞き取り調査を行った。社会学部の授業内および社会学部内の研究会において、日本の学校外青少年教育に関して報告する機会を得た。同時に現地の大学図書館等に所蔵されている資料収集を行った。これら調査のなかには進行中のものも含まれるが、調査から得られた結果に関しては学会、および専門誌等での公開に向けて継続して研究に取り組んでいる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 Inoue Ema
2. 発表標題 Does Living with Parents Affect the Mental Health in Young People? Ema Inoue
3. 学会等名 Journal of Youth Studies Conference
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----